

Coffee consumption may suppress development of metabolic syndrome in patients with rheumatoid arthritis—TOMORROW study

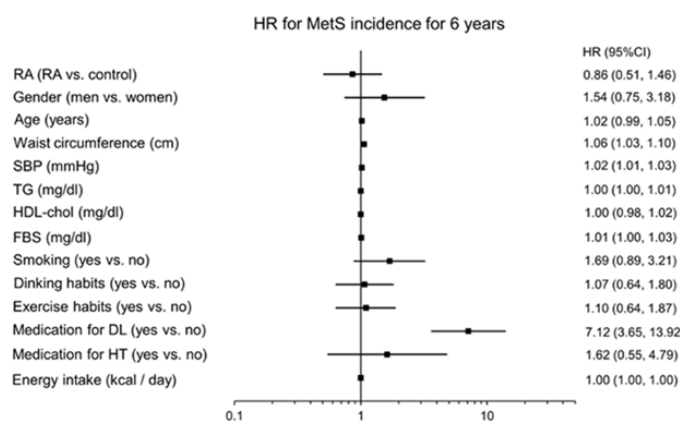
コーヒーの摂取は関節リウマチ患者のメタボリックシンドローム発症を抑制する可能性がある

松本 佳也

- ① 関節リウマチであることとメタボリックシンドローム（MetS）発症との関連性の検証、
- ② 関節リウマチ患者の MetS 発症と関わる食品・栄養素摂取状況の検証を行いました。

関節リウマチであることは MetS 発症と有意に関連せず、関節リウマチ患者の MetS 発症抑制にコーヒーの定期的な摂取が寄与している可能性があります。

<https://doi.org/10.1093/mr/roaf016>



MetSに該当しない関節リウマチ患者とコントロール計344名を対象に、6年間の追跡期間中のMetS発症と各因子の関連性を検証したところ、関節リウマチであることはMetS発症と有意に関連しませんでした。

	RA			Control		
	No intake	< 1cup/day	≥ 1cup/day	No intake	< 1cup/day	≥ 1cup/day
Total coffee intake in 2011	-	0.24 [*] (0.09, 0.64)	0.25 [*] (0.10, 0.62)	-	1.09 (0.21, 5.65)	1.63 (0.39, 6.83)
Filter coffee in 2010	-	0.86 (0.35, 2.12)	1.09 (0.49, 2.46)	-	0.89 (0.39, 2.04)	1.20 (0.59, 2.45)
Instant coffee in 2010	-	0.62 (0.25, 1.52)	0.32 [*] (0.14, 0.76)	-	0.97 (0.39, 2.42)	0.90 (0.45, 1.78)
Decaffeinated coffee in 2010	N.A.	-	1.62 (0.39, 6.80)	N.A.	-	-
Total coffee intake in 2010	-	0.46 (0.16, 1.36)	0.33 [*] (0.13, 0.82)	-	0.82 (0.27, 2.43)	0.89 (0.37, 2.18)

関節リウマチ患者では、定期的なコーヒー（特に1日1杯以上）の摂取習慣があることはMetS発症抑制的に寄与する可能性があります。

Matsumoto Y, et al. Mod Rheumatol 2025;35(4):650-657, Figure 2, Table 4